

日向入郷地域における糖尿病対策の取組と今後に向けた実態調査－第1報－

○川平陽子¹⁾、本武明子²⁾、飯干麻子³⁾、高妻真子⁴⁾、鮫島祐子¹⁾日向保健所¹⁾、健康増進課²⁾、日向保健所兼高鍋保健所³⁾、中央保健所⁴⁾

I はじめに

日向入郷地域では、平成30年度より糖尿病対策を協議する連絡会を立ち上げ、令和2年度からは日向入郷地域糖尿病対策推進協議会を設置し、管内の糖尿病対策に取り組んでいる。まず、令和元年度は、多職種連携及び糖尿病連携手帳（以下、「手帳」という。）活用促進を目的として、管内の医療従事者等を対象に糖尿病治療者・血糖高値者支援コーチングスキルをテーマに研修会を実施した。研修会終了時にアンケートを行ったところ、「手帳を活用できると思う・活用したい」「引き続き活用する」と回答した者が9割と活用について前向きな回答が得られた。一方、「今回の研修で手帳を初めて知った」と回答した者が約5割、「使い方がわからない」との意見もあり、手帳の周知の必要性が明らかになった。そこで、令和2年度は、医療従事者向けの手帳周知ちらしを作成、管内医療機関に配布し普及を図った。

今回、取組のプロセス評価と、本地域における手帳の活用状況を把握し今後の手帳活用促進に必要な基礎資料を得ることを目的に調査を実施し、その結果を基に今後の円滑な糖尿病対策の取組について検討したので第一報として報告する。

II 対象と方法

- 調査客体 アンケートⅠ：令和元年度糖尿病対策研修会受講者 74名のうち45名
アンケートⅡ：管内薬局・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションの糖尿病患者支援代表者（アンケートⅠの対象を含まない） 94名のうち46名
- 調査期間：令和3年1月
- 調査内容：手帳の活用状況、ちらしの周知度、研修会の評価、手帳を活用した多機関連携のために必要なこと等
- 調査表の作成・配布

宮崎県健康増進課¹⁾及び小林保健所が西諸管内の医療機関へ実施した手帳活用状況に関する調査の質問票²⁾を参考に作成し、当保健所より対象者へ郵送で調査票を送付しFAXで回答を得た。

III 結果

回収率は、アンケートⅠが60.8%、アンケートⅡが48.9%であった。結果は表1から表9のとおり。

表1 回答職種

	アンケートⅠ (n=45)	アンケートⅡ (n=46)
医師	2	1
薬剤師	6	20
看護師	14	8
保健師	7	0
管理栄養士	11	0
ケアマネジャー	1	17
その他	4	0

表3 手帳を活用していると回答した者の具体的な活用方法

	合計 (n=40)		アンケートⅠ (n=19)		アンケートⅡ (n=21)	
	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)
他機関での検査結果や指導内容の確認のみ	19	47.5	7	36.8	12	57.2
自機関での検査結果の記載のみ	7	17.5	3	15.8	4	19.0
手帳の記載内容をもとに患者へ療養指導、教育を行っているが、手帳には記載していない	10	25.0	5	26.3	5	23.8
手帳の記載内容をもとに患者へ療養指導、教育を行い、その内容を手帳に記載している	4	10.0	4	21.1	0	0

表2 手帳活用状況

	アンケートⅠ (n=45)		アンケートⅡ (n=46)	
	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)
活用している	19	42.2	21	45.7
活用していない	26	57.8	25	54.3

表4 手帳活用周知ちらしの周知率

	アンケートⅠ (n=45)	
	実数(人)	割合(%)
見たことがある	18	40.0
見たことがない	27	60.0

表5 手帳を活用していると回答した者の患者・利用者への手帳の活用促し状況

	合計 (n=40)		アンケートⅠ (n=19)		アンケートⅡ (n=21)	
	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)
促している	25	62.5	12	63.1	13	61.9
促していない	12	30.0	4	21.1	8	38.1
未記入	3	7.5	3	15.8	0	0

表6 手帳を活用していると回答した者の参考にしたり記載している項目（複数回答）

	合計 (n=40)		アンケートⅠ (n=19)		アンケートⅡ (n=21)	
	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)
基本情報	16	17.8	7	14.0	9	22.5
検査結果	37	41.1	17	34.0	20	50.0
眼科・歯科の受診状況	11	12.2	7	14.0	4	10.0
合併症関連検査	10	11.1	7	14.0	3	7.5
療養指導	11	12.2	8	16.0	3	7.5
その他	5	5.6	4	8.0	1	2.5

表7 令和元年度研修会受講後の現場での活用状況

	アンケートⅠ (n=44)	
	実数(人)	割合(%)
活かしている	13	30
活かす機会がない	17	39
活かしていない	11	25
未記入	3	7

※ 急遽不参加だったという回答1件は含めず

表8 表7の活用の具体例(自由記載)

・受診の際は、手帳を持参し提出するように本人へ声かけや受診用バッグにいれたりしている 本人のできている所を維持又は活かせるように努めている
・患者の話を傾聴し、出来ていることを褒め支援している
・件数は少ないが、糖尿病患者の訪問栄養指導時には手帳を見せて貰い、その内容を支援に生かすようにしている
・利用者さんの話をしっかり聞いて、出来ていることを褒め、実行が継続できるようすすめている

表9 今後、手帳活用促進を図るためにできること(自由記載)

(一部抜粋して記載)

対象	アンケート	内容
患者・利用者に対して	アンケートⅠ	・利用者が受診する前には必ず持参し、受診の際に提出するよう声かけを行っている。検査データを振り返り、改善している部分は一緒に喜び励ましている ・他院、眼科・歯科医院でも見せるように声掛けする ・利用者の中で持参して来られる方はいない。認識があるのか疑問
	アンケートⅡ	・受診する時は必ず持参するように促す ・検査結果等を記録し、その推移をチェックしていくことで食事・運動の見直しに繋がり、健康維持に良い影響が出ることの説明をする
医療機関に対して	アンケートⅠ	・以前会議で医師より「付箋をした方が記入した内容を見る」という助言をいただいたので付箋をつけるようにしている ・医師、薬剤師、看護師、栄養士、事務等の関係者が手帳の重要性を理解する必要がある ・医療機関の中でも職種によって手帳に対する認識に差があることが考えられるため、他職種との連携を強化する ・手帳の存在を研修を通して知ったので、医療機関での使用を増やして欲しい。定着が必要
	アンケートⅡ	・受診時の指導があれば「〇〇について」だけでもよいので記入していただきたい
行政に対して	アンケートⅠ	・記載するページを増やしてほしい ・手帳の内容は良いので更に活用を広めることが必要 ・活用についての勉強会などを開催する
	アンケートⅡ	・データや指導に対し情報を共有し、再度還元をお願いしたい

IV 考察と今後の取組

手帳の活用状況では、アンケートⅠとアンケートⅡで令和元年度研修会受講の有無による大きな差はみられず、5割以上の者が活用していなかった。更に、手帳周知ちらしの周知率が4割という結果から、コロナ禍においても支援者に対して効果的な手帳の周知を継続的に行う必要があると考えた。また、アンケートⅠとⅡを合わせ、手帳を活用している者は、「患者・利用者へ活用を促している」が6割で、手帳の項目では、「検査結果」を参考、記載している割合が最も高く、その他の項目に差はあまりみられなかった。更に、実際に手帳に記載しているという者の割合が3割も満たなかったことから、検査結果を主とする情報収集方法の周知や自機関での関わり内容の記載を促すような取組を行う必要があると考えた。研修会受講者の中で、研修内容を現場で活用している者は3割程度であったが、訪問時に手帳を確認し支援に活かしている、患者の話を傾聴し、出来ていることを褒め支援しているといった活用がされており、習得した内容が受診時、訪問時等様々な場面で有効に活用されていると思われた。表8のとおり患者・利用者、医療機関、行政各々に対して手帳活用のヒントも多く収集できた。今回、割愛するが医師・歯科医師にも同アンケートを行い、手帳活用のヒントを得ている(第2報として次回報告)。これらの内容から、手帳は支援者間での情報共有のツールであると同時に、糖尿病患者への療養指導、患者自身の治療継続、生活習慣改善の意欲を高める有効なツールであることが改めて感じられた。

更なる手帳活用を促進していくためには、様々な職種の支援者に活用のメリットや重要性、基本的な活用方法、他機関がどのような情報、指導を必要としているか等の情報を周知し、有効な手帳活用を進めていき、患者に対しても、手帳の認知度アップ、活用方法の周知を行っていく必要がある³⁾。

今後は、当協議会において関係機関へどのような働きかけが可能かを検討し取り組んでいく。支援者の資質向上及び手帳活用促進を目的とした研修会を継続し、支援者が統一した認識のもと手帳を活用できるよう、今回得られた手帳活用のヒントを基に管内の手帳の使い方やルールをまとめた媒体を作成、周知して手帳の活用促進へ繋げ、日向入郷地域の更なる糖尿病対策の強化に繋げていきたい。

V 参考文献

- 1) 宮崎県健康増進課：令和元年度宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防事業に係る調査結果、2020
- 2) 宮崎県健康増進課、小林保健所：西諸地域における糖尿病連携手帳に関する調査結果、2020
- 3) 白神敦久：徳島県の糖尿病における健康保持増進体制－機関病院からの糖尿病地域連携の実施例－糖尿病連携手帳の活用、四国医誌、67巻5、6号、177-180、2011